

ドクター
メモ

新型コロナウイルス感染症と メンタルヘルス

新型コロナウイルス感染症は最初の感染者が確認されてからすでに1年以上経過しています。が、いまだに収まっています。

新型コロナウイルス感染症は生命に関わる病気であるとともに、多くの人々のメンタルヘル스에 深刻な影響を与えています。専門家の間では、経済的に困窮している人は性別や年齢を問わず精神的に追い詰められていると言われています。しかし、メンタルヘルスの観点から特に注意すべき人は、意外にも15〜39歳の思春期、若年成人といわれています。

一般的に、新型コロナウイルス感染症に感染しても症状が軽いといわれている世代のため対策が軽視されがちですが、就学や就職といった課題を前に、不登校やインターネット依存、引きこもり、家族の経済的苦境のため就学を諦めるなどのケース

が見られます。さらに女性の場合、結婚や出産の悩み、派遣切りといった経済的な問題、ステイホームによるDV被害や育児の悩みの深刻化などが要因として挙げられており、対策が急がれています。

このような状況に対して、4月からメンタルヘルス相談システム「ココスココラボラボ」の運用が始まりました。これは、自宅でメンタルチェックを無料で受けられる、国立精神・神経医療研究センターが始めたWebサイトです。市では無料相談などのオンラインサービスを受けることはできませんが、メンタルの不調を自覚している人で、心療内科や精神科の受診を悩んでいる人は一度利用してみたいかがでしょうか。

吹田市医師会

富樫

哲也